治水事業

事業の概要

十勝川は、その源を大雪山系の十勝岳に発し、山間峡谷を流れ、十勝平野に入り、広大な畑作地帯を流下しながら、人口・資産が集積し、流域最大の市街地である帯広市に入ります。その後、急勾配である音更川及び札内川、利別川等を合わせ、低平地に広がる畑作地帯を流下し、豊頃町において太平洋に注ぐ、幹線流路延長156km(全国17位)、流域面積9,010㎢(全国6位)の一級河川です。

十勝川流域は、大雪山国立公園をはじめとして、針葉樹林や針広混合林、湿原群落等の植物相が形成され、河川は、サケの遡上やシシャモの産卵といった魚類の繁殖の場となっています。

十勝川水系では、「北海道の価値を生み出す北海道型地域構造～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり」の目標のもと、流域で暮らす人々の安全・安心を確保するとともに、農林水産業・観光等を担う「生産空間」を支えるため、多様な動植物が生息・生育する自然との調和を図りつつ、以下の各事業を推進します。

平成28年北海道大雨災害から10年の節目にあたり、災害記憶を風化させないことと、気候変動の影響により激甚化・頻発化する災害に対応するため、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」の推進、第1次国土強靱化実施中期計画に基づく対策」を推進し、強靱な国土づくりに取り組みます。

川へ行こう！ 川を楽しもう！
かわたび ぽっかいどう
KAWATABI HOKKAIDO

北海道総合開発計画のもと、川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等、川に関する情報を発信するとともに、地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」プロジェクトを推進しています。

帯広畜産大学との共創
(馬文化継承)

観光協会との共創

国土交通省 川の防災情報 "気象"×"水害・土砂災害" 情報マルチモニタ

十勝川水系流域治水プロジェクト

気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、河川・下水道管理者等が行う治水対策に加え、あらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を更に加速化・深化させるためにとりまとめた「十勝川水系流域治水プロジェクト2.0」に基づき、ハード・ソフト一体の事前防災対策を推進します。

流域治水の取組として、地元自治体と連携し治水対策と避難場所の整備等を一体的に推進しています。

河道掘削土を活用した
一時避難場所の造成(池田町)

河川事業

十勝川流域では、令和5年3月に変更した「十勝川水系河川整備計画」に基づき、洪水を安全に流下させることができるよう、堤防等の整備や河道の掘削、堤防強化対策、侵食対策などの治水対策を計画的に進めています。また、堤防や樋門などの河川管理施設の機能を維持するため、堤防除草や水門等の点検・補修などの維持管理を行うとともに、防災インフラ管理の効率化・高度化と予防保全(老朽化対策)を行っています。

河道掘削(利別川)

砂防事業・大規模土砂災害への取組

戸蔦別川では、洪水時における土砂流出による災害を未然に防止するため、土砂流出の抑制・調節を図る砂防堰堤、流木止め及び床固工群の整備を行っており、今年度も整備を推進します。

大規模土砂災害への取組として、河道閉塞や雌阿寒岳、十勝岳の火山噴火に起因する土砂災害への危機管理対策や、地域への災害情報の周知、避難支援に関する対応の充実を図ります。

戸蔦別川第4号砂防堰堤(建設中)

ダム事業

十勝川上流の十勝ダムは、洪水調節と発電を目的として、昭和59年に完成した多目的ダムです。また、札内川上流の札内川ダムは、洪水調節と水道・農業用水の供給及び発電等を目的として、平成10年に完成した多目的ダムです。

治水・利水機能を確保するためのダム管理に必要な施設の点検整備、観測・操作、流木処理などを行い、管理の充実を図ります。また、札内川ダムでは、放流能力増強等について、調査・検討を行います。糠平ダム再生事業では、既存ストックを最大限活用する計画の検討を行います。

十勝ダム

◆十勝ダムの施設概要

高さ	84.3m
長さ	443m
体積	3,715,000m³
総貯水容量	112,000,000m³
貯水面積	4.2km²
ダムの集水面積	592km²
ダム形式	中央コア型ロックフィルダム

札内川ダム

◆札内川ダムの施設概要

高さ	114m
長さ	300m
体積	770,000m³
総貯水容量	54,000,000m³
貯水面積	1.7km²
ダムの集水面積	117.7km²
ダム形式	重力式コンクリートダム

◆令和8年度　治水事業の概要

事業別		地区別等	事務所等	事業の概要
河川整備事業	河川改修	十勝川中上流、音更川、札内川 等	帯広河川事務所	河道掘削、侵食対策等
		十勝川下流、利別川 等	池田河川事務所	河道掘削、堤防整備等
	河川維持修繕	十勝川水系	帯広河川事務所 池田河川事務所	堤防管理、水門等維持管理、樹木伐採、河川巡視、施設点検等
	河川工作物関連応急対策	十勝川水系	池田河川事務所	水門等の応急対策等
	堰堤維持	十勝ダム	帯広河川事務所 十勝ダム管理支所	施設点検・補修、設備更新等
		札内川ダム	帯広河川事務所 札内川ダム管理支所	
	堰堤改良	札内川ダム	帯広河川事務所	放流設備検討等
砂防事業	河川総合開発	糠平ダム	糠平ダム調査事業所	治水機能増強検討調査等
	砂防事業	十勝川水系(戸蔦別川)	帯広河川事務所	砂防堰堤等

都市水環境整備事業

十勝川流域では、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するなど豊かな自然環境が有する多様な機能を活用したグリーンインフラの取組を行っています。

十勝川水系では、土地利用の変化等様々な要因により、生物の生息場(湿地環境、水際環境、礫河原等)が減少し、生物多様性の損失など生態系へ影響を及ぼすとともに、河川利用者の減少を招き、河川利用文化が衰退するおそれがあります。このため、治水対策と適切に組み合わせて生物の生息場の保全・創出などの取組により、失われた河川環境を再生しつつ、多様性と連続性を基調とした良好な河川環境の回復を図ります。また、十勝川流域では、良好なまちと水辺が融合した空間形成の推進を目的に、「かわまちづくり支援制度」を活用し、観光客等の利便性向上や地域の観光の促進を図り、地域活性化を目指します。

取組事例)十勝川下流付近 水際環境の創出

取組事例)十勝川中流付近 水際環境の創出

◆令和8年度　都市水環境整備事業の概要

事業区分等	地区別等	事務所等	事業の概要
総合水系環境整備事業	十勝川水系	帯広河川事務所、池田河川事務所	自然再生　帯広市ほか流域市町村
	帯広地区	帯広河川事務所	水辺整備 (かわまち)　帯広市
	十勝川中流地区	帯広河川事務所、池田河川事務所	水辺整備 (かわまち)　音更町、池田町、幕別町